

「自己点検・評価書」・「基礎資料」 正誤表

大学名 松山大学 薬学部

■自己点検・評価書

No.	頁	行	誤	正
1	25	2行目	表 3-3 に示すように必修科目で「医療薬学への招待」(2 単位)、「薬学基礎実習Ⅰ」(1 単位)、「 <u>薬学基礎実習Ⅱ</u> 」(1 単位)、「医療心理学」(2 単位)、「 <u>実践社会薬学</u> 」(2 単位)、「 <u>病院・薬局事前実習Ⅱ</u> 」(2 単位)の計 <u>10</u> 単位、教養教育・語学教育、準備教育、医療安全教育、生涯学習の意欲醸成に該当する必修科目の <u>単位数 46 単位</u> とあわせて合計 <u>56</u> 単位になり、卒業要件 201 単位の <u>27.8%</u> に相当する(資料 2-1, p188-191)。	表 3-3 に示すように「 <u>生命倫理学</u> 」(2 単位)、「医療薬学への招待」(2 単位)、「薬学基礎実習Ⅰ」(1 単位)、「医療心理学」(2 単位)、「 <u>実践臨床薬学</u> 」(2 単位)の計 <u>9</u> 単位、教養教育・語学教育、準備教育、医療安全教育、生涯学習の意欲醸成に該当する科目とあわせて合計 <u>35</u> 単位になり、卒業要件 201 単位の <u>17.4%</u> に相当する(資料 2-1, p188-191)。
2	25	表 3-3 のタイトル	医療人教育関連科とその内容の分類	医療人教育関連科目とその内容の分類
2	25		表 3-3	訂正赤字部分
3	26	2行目	表 3-4 に示すように必修科目で「薬学へのプロローグ」(1 単位)、「 <u>薬剤師と医療</u> 」(2 単位)、「 <u>早期臨床体験</u> 」(2 単位)、「 <u>医療倫理 1</u> 」(1 単位)、「 <u>社会の中の薬剤師</u> 」(2 単位)「 <u>医療倫理 2</u> 」(1 単位)、「 <u>臨床薬学実習</u> 」(2 単位)の計 <u>11</u> 単位であり、教養教育・語学教育、準備教育、医療安全教育、生涯学習の意欲醸成に該当する必修科目の <u>単位数 32 単位</u> とあわせて合計 <u>43</u> 単位になり、卒業要件 186 単位の	表 3-4 に示すように「 <u>医療倫理基礎</u> 」(2 単位)、「薬学へのプロローグ」(1 単位)、「 <u>薬剤師と医療</u> 」(2 単位)、「 <u>早期臨床体験</u> 」(2 単位)、「 <u>社会の中の薬剤師</u> 」(2 単位)、「 <u>医療倫理 1</u> 」(1 単位)、「 <u>医療倫理 2</u> 」(1 単位)、「 <u>薬の法規・制度</u> 」(2 単位)の計 <u>13</u> 単位であり、教養教育・語学教育、準備教育、医療安全教育、生涯学習の意欲醸成に該当する科目とあわせて <u>37</u> 単位になり、卒業要件 186 単位の <u>19.9%</u> に相当する(資料 2-2, p184-187)。

			23.1%に相当する（資料 2-2, p184-187）。	
4	26	表 3-4 のタイトル	医療人教育関連科とその内容の分類	医療人教育関連科目とその内容の分類
5	26		表 3-4	訂正赤字部分
6	50	下 8 行目	望む	臨む
7	65	4行目	18 単位	15 単位
8	65		表 6-3	訂正赤字部分
9	67		図 6-1	図 6-1（正）
10	67		図 6-2	図 6-2（正）
11	87	下7行目	機能している（資料 54）。	機能している。
12	88	2行目	カウンセリング・ルーム	カウンセリング・ルーム（資料 54）
13	87	下 7 行目	人身	心身
14	103	12行目	「 <u>学校法人松山大学自己点検・評価実施委員会規程</u>	「 <u>学校法人松山大学自己点検・評価実施委員会規程</u> 」
15	106	下 1 行目	220 番教室（面積 246 m <sup>2</sup> 、収容人数 240 名、固定式 <u>または可動式機</u> ）、221 番教室（面積 246 m <sup>2</sup> 、収容人数 240 名、固定式 <u>または可動式機</u> ）、215 番教室（面積 286 m <sup>2</sup> 、収容人数 297 名、固定式 <u>または可動式機</u> ）	220 番教室（面積 246 m <sup>2</sup> 、収容人数 240 名、固定式）、221 番教室（面積 246 m <sup>2</sup> 、収容人数 240 名、固定式）、215 番教室（面積 286 m <sup>2</sup> 、収容人数 297 名、固定式）

以下を添付

- ・表 3-3 訂正版
- ・表 3-4 訂正版
- ・表 6-3 訂正版
- ・図 6-1（正）
- ・図 6-1（誤）
- ・図 6-2（正）
- ・図 6-2（誤）

表 3-3.

科目区分 1	科目区分 2	開講年次	科目（資料 5-1、ページ）	単位	医療人教育の基本的内容の分類（注）				
					3-1	3-2	3-3	3-4	3-5
共通教育科目	人文科学関係	1・2	◎生命倫理学 (p43)	2	○	○			
			◎選択必修	2	△	○			

	社会科学関係		◎選択必修	2	△					
			◎選択必修	2	△					
	自然科学関係		◎基礎無機化学 (p88)	2	△	○				
			◎ヒトの生物学 (p89)	2	△	○				
	言語文化基礎科目		◎選択必修	8		○				
	言語文化応用科目		◎選択必修	4		○				
専門教育科目	専門導入科目	1	◎医療薬学への招待 (p863)	2	○		○	○		
			<del>◎薬学数学 (p864)</del>	2			○			
			<del>◎薬を理解するための基礎物理学 (p865)</del>	1			○			
			<del>◎薬を理解するための基礎物理化学 (p866)</del>	1			○			
			<del>◎薬を理解するための基礎分析化学 (p867)</del>	1			○			
			<del>◎薬を理解するための基礎有機化学 (p868)</del>	1			○			
			<del>◎薬を理解するための基礎生物学 (p869)</del>	1			○			
	実習科目		◎薬学基礎実習Ⅰ (p956)	1	○			○	○	
		<del>◎薬学基礎実習Ⅱ (p957)</del>	1		○	○	○			
	医療薬学科目	3	<del>◎医薬品情報学 (p929)</del>	2		○		○		
			◎医療心理学 (p930)	2	○					
			<del>◎調剤学 (p926)</del>	2		○		○	○	
			<del>—医療制度論 (p933)—</del>	2			○	○		
		4	<del>◎実践社会薬学 (p941)</del>	2		○		○	○	○
			<del>◎病院・薬局 薬学Ⅰ (p943)</del>	2		○		○	○	
			<del>◎病院・薬局 薬学Ⅱ (p944)</del>	2		○		○	○	
	<del>◎病院・薬局事前実習Ⅰ (p979)</del>		1		○		○	○		
		<del>◎病院・薬局事前実習Ⅱ (p981)</del>	2		○		○			
	医療薬学科目		<del>—医薬品安全性学 (p949)—</del>	2				○		
	総合薬学科目	5	◎薬学専門英語 (p952)	1		○	○			
医療薬学科目	6	◎医薬品情報学演習 (p951)	1				○			
		◎実践臨床薬学 (p954)	2	○			○	○		
		◎薬事法規 (p953)	2				○	○		
			必修合計単位数	35			17.4%			
			選択を含む総単位数	60			29.8%			
			卒業要件総単位数	201			100%			

表 3-4.

科目区分1	科目区分2	開講年次	科目 (資料 5-2、ページ)	単位	医療人教育の基本的内容の分類 (注)				
					3-1	3-2	3-3	3-4	3-5
共通教育科目	人文科学関係	1, 2	◎医療倫理基礎 (p41)	2	○	○			
			◎選択必修	2	△	○			
	◎選択必修		2	△	○				
	◎選択必修		2	△	○				
	◎選択必修		8		○				
	◎選択必修	4		○					
専門教育科目	導入科目	1	◎薬学へのプロローグ (p784)	1	○				
			◎薬剤師と医療 (p771)	2	○		○	○	○
			◎早期臨床体験 (p786)	2	○		○	○	
	領域別科目	2	◎社会の中の薬剤師 (p826)	2	○				
			<del>◎医薬品情報 (p824)</del>	2				○	
	技能科目		◎医療倫理1 (p829)	1	○			○	
			◎医療倫理2 (p860)	1	○			○	
	領域別科目	3	◎薬の法規・制度 (p879)	2	○			○	
			◎薬のサイエンス英語 (p861)	2		○			
			<del>◎臨床調剤 (p878)</del>	2		○		○	
			<del>—医療コミュニケーション (p913)—</del>	1		○			
	技能科目	4	◎医療英語 (p888)	2		○			
			<del>◎実務事前学習 (p887)</del>	2		○		○	○
総合科目	6	◎実践臨床薬学 (p894)	2				○		
		<del>—実践地域医療 (p895)—</del>	1		○			○	

		<del>実践臨床推論 (p896)</del>	<del>1</del>						⊖
		必修合計単位数	37						19.9%
		選択を含む総単位数	46						24.7%
		卒業要件総単位数	186						100%
単位外の教育支援	1	<del>学習サポート制度*</del>	=						⊖

表 6-3.

科目区分1	科目区分2	開講年次	科目 (資料 5-1、ページ)	単位	能動型学習の要素				
					換算単位	SGD/PBL	SGD/TBL	現場体験	課題研究
共通教育科目	人文科学関係	1,2	◎生命倫理学 (p43)	2	1	○			
専門教育科目	実習科目	1	◎薬学基礎実習 I (p956)	1	1	○		○	
		2	◎薬学基礎実習 II (p957)	1	2	○		○	
	医療薬学科目	3	◎機能形態学Ⅲ (p902)	2	1		○		
		3	◎医薬品情報学 (p929)	2	1				○
		4	◎実践社会薬学 (p941)	2	1	○			
	実習科目	4	<del>◎病院・薬局事前実習 I (p979)</del>	<del>1</del>	<del>1</del>	<del>⊖</del>			
		4	<del>◎病院・薬局事前実習 II (p981)</del>	<del>2</del>	<del>2</del>	<del>⊖</del>			
	総合薬学科目	4~6	◎卒業研究 (p994) *	8	8				○
		必修合計単位数	18	15				8.1%	
		選択を含む総単位数	18	15				8.1%	
		卒業要件総単位数	201						
		設置基準卒業要件総単位数	186					100%	

◎は必修科目  
\* アドバンスト実習を含む。

図 6-1 (正)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
薬学基礎実習Ⅰ－SGD、 KJ法、ジグソー法				機能形態学Ⅲ－TBL (解剖生理学4テーマ)				実務実習		アドバンスト実習	
薬学基礎実習Ⅱ－NSAIDs に関するTBL、施設訪問 による早期臨床体験と SGD				医薬品情報学 (EBMについての グループ学習)				卒業研究			
						実践社会薬学－CBL (グループ討論)					

図 6-1 (誤)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
薬学基礎実習Ⅰ－SGD、 KJ法、ジグソー法				機能形態学Ⅲ－TBL (解剖生理学4テーマ)				実務実習		アドバンスト実習	
薬学基礎実習Ⅱ－NSAIDs に関するTBL、施設訪問 による早期臨床体験と SGD				医薬品情報学 (EBMについての グループ学習)				卒業研究			
						病院・薬局事前実習Ⅰ ・気管支喘息患者の薬物治療前後のフィジ カルアセスメント ・プレアボイド演習 ・リスク症例演習 ・症例から学ぶ患者への薬学的アプローチ					
						実践社会薬学－CBL (グループ討論)					
						病院・薬局事前実習Ⅱ 医薬看3学科合同チーム医療学習					

図 6-2 (正)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<p>薬学へのプロローグーSGD、KJ法、ジグソー法</p> <p>薬剤師と医療ー医療のあり方・薬害についてのSGD・PBL</p> <p>早期臨床体験ー施設訪問における体験学習とSGD</p>		<p>医療倫理1, 2 (2学年合同で倫理事例に関するPBL・CBL: 4テーマ)</p> <p>社会の中の薬剤師ーCBL (グループ討論)</p> <p>医薬品情報ーEBMについてのグループ学習</p>				<p>薬学横断科目 (8疾患対象のPBL・CBL)</p>		<p>実務実習</p>		<p>アドバンスト実習</p>	
						<p>卒論研究1-3</p>				<p>実践地域医療ー地域医療の現場体験をもとにしたPBL</p> <p>実践臨床推論ー病棟・薬局における患者状況判断PBL</p>	

図 6-2 (誤)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<p>薬学へのプロローグーSGD、KJ法、ジグソー法</p> <p>薬剤師と医療ー医療のあり方・薬害についてのSGD・PBL</p> <p>早期臨床体験ー施設訪問における体験学習とSGD</p>		<p>医療倫理1, 2 (2学年合同で倫理事例に関するPBL・CBL: 4テーマ)</p> <p>社会の中の薬剤師ーCBL (グループ討論)</p> <p>医薬品情報ーEBMについてのグループ学習</p>				<p>薬学横断科目 (8疾患対象のPBL・CBL)</p> <p>臨床薬学実習  <ul style="list-style-type: none"> <li>・気管支ぜん息患者の薬物治療前後のフィジカルアセスメント</li> <li>・プレアボイド演習PBL</li> <li>・リスク症例演習PBL</li> <li>・症例から学ぶ患者への薬物治療PBL</li> </ul>                     医薬看3学科合同チーム医療学習SGD                 </p>		<p>実務実習</p>		<p>アドバンスト実習</p>	
						<p>卒業研究</p>				<p>実践地域医療ー地域医療の現場体験をもとにしたPBL</p> <p>実践臨床推論ー病棟・薬局における患者状況判断PBL</p>	

■基礎資料

No.	資料番号	頁	箇所	誤	正
1	6	98	(基礎資料6) 訂正版 (2019年8月19日提出)		赤字部分
2	8	100	(基礎資料8) 訂正版		赤字部分

以下を添付

- ・基礎資料6 訂正版 (p98)
- ・基礎資料8 訂正版

(基礎資料6, p98) 訂正版 [2019年8月19日提出]

(基礎資料6) 実務実習事前学習のスケジュール

(注) 114人を講義は分割なし、実践での活用に関する演習は6グループに分割して実習している

平成30年4月 (5年次用)							
(週)	(曜日)	(日)	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
第1週	月	2日					
	火	3日					
	水	4日					
	木	5日					
	金	6日					
第2週	月	9日	祝日				
	火	10日					
	水	11日					
	木	12日					
	金	13日					
第3週	月	16日			第1回 授業ガイダンス 講義室 学内教員3名 (全体114人)	第2回、第3回 演習 (調剤に必要な情報) 講義室 (2)-③-1, (2)-③-2, (2)-③-4, (2)-③-5 学内教員2名 (全体114人)	
	火	17日			第4回、第5回 演習 (注射調剤に必要な情報) 講義室 (2)-③-2, (2)-③-5, (2)-③-6 学内教員2名 (全体114人)	第6回 演習 (総合演習 調剤・注射) 講義室 (2)-③-1, (2)-③-2, (2)-③-4, (2)-③-5, (2)-③-6 学内教員2名 (全体114人)	
	水	18日			第7回、第8回 演習 (処方解析 基礎編) 講義室 (3)-①-1, (3)-①-2, (3)-①-3, (3)-④-1, (3)-④-2, (3)-④-3		

				学内教員2名 (全体114人)
	木	19日		
	金	20日		
第4週	月	23日		<b>第9回, 第10回</b> 演習(処方解析 応用編) 講義室 (3)-①-1, (3)-①-2, (3)-①-3, (3)-④-1, (3)-④-2, (3)-④-3 学内教員2名 (全体114人)
				<b>第11回</b> 演習(総合演習 処方解析) 講義室 (3)-①-1, (3)-①-2, (3)-①-3, (3)-④-1, (3)-④-2, (3)-④-3 学内教員2名 (全体114人)
	火	24日		<b>第12回</b> 実習(実践での活用注射) 無菌調剤実習室 (2)-③-6, (2)-③-7, (2)-⑥-5 学内教員1名 (1グループ19人)
				<b>第13回</b> 実習(実践での活用服薬指導) DI室 (2)-③-4, (2)-④-1, (2)-④-2, (2)-④-3, (2)-④-4, (2)-④-5, (2)-④-6, (2)-④-7, (2)-④-8, (5)-③-1, (5)-③-2, (5)-③-3, (5)-③-4 学内教員1名 (1グループ19人)
				<b>第14回</b> 実習(実践での活用調剤) 総合調剤実習室 (2)-③-1, (2)-③-2, (2)-③-3 学内教員1名 (1グループ19人)
	水	25日		<b>第15回</b> 演習(まとめ) 講義室 (2)-③-1, (2)-③-2, (2)-③-3, (2)-③-6, (2)-③-7, (2)-⑥-5, (2)-③-4, (2)-④-1, (2)-④-2, (2)-④-3, (2)-④-4, (2)-④-5, (2)-④-6, (2)-④-7, (2)-④-8, (5)-③-1, (5)-③-2, (5)-③-3, (5)-③-4 学内教員4名 (全体114人)
	木	26日		
	金	27日		
第5週	月	30日	祝日	
	火			
	水			
	木			
	金			

- [注] 1 実務実習事前学習のスケジュールを例示に従い、一人の学生を例として、改訂モデル・コアカリキュラムのSB0の記号と番号を、実習の1コマ(または連続するコマ)ごとに学習方法(講義、実習、症例検討、ロールプレイなどの別がわかるように)と、1グループの人数(学生数と分割数がわかるように上部に注をつけて)を記入してください。  
 表は各年次、月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートをコピーして適宜追加し、作成してください。
- 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
- 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料 8) 教員・職員の数

表 1. 大学設置基準 (別表第 1) の対象となる薬学科 (6 年制) の専任教員

教授	准教授	専任講師	助教	合計	基準数 <sup>1)</sup>
14 名	18 名	0 名	6 名	38 名	28 名
上記における臨床実務経験を有する者の内数					
教授	准教授	専任講師	助教	合計	必要数 <sup>2)</sup>
3 名	4 名	0 名	0 名	7 名	5 名

1) 大学設置基準第 13 条別表第 1 のイ (表 1) 及び備考 4 に基づく数

2) 上記基準数の 6 分の 1 (大学設置基準第 13 条別表第 1 のイ備考 10) に相当する数

表 2. 薬学科 (6 年制) の教育研究に携わっている表 1. 以外の薬学部教員

助手 <sup>1)</sup>	兼任教員 <sup>2)</sup>
0 名	0 名

1) 学校教育法第 92 条⑨による教員として大学設置基準第 10 条 2 の教育業務及び研究に携わる者

2) 4 年制学科を併設する薬学部で、薬学科の専門教育を担当する 4 年制学科の専任教員

表 3. 演習、実習、実験などの補助に当たる教員以外の者

TA	SA	その他 <sup>1)</sup>	合計
0 名	0 名	3 名	3 名

1) 実習などの補助を担当する臨時、契約職員など。

表 4. 薬学部専任の職員

事務職員	技能職員 <sup>1)</sup>	その他 <sup>2)</sup>	合計
7 名	0 名	0 名	7 名

1) 薬用植物園や実験動物の管理、電気施設など保守管理に携わる職員

2) 司書、保健・看護職員など